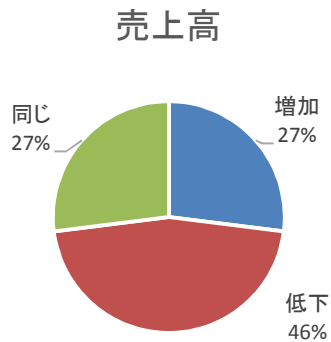


平成27年 あさひかわ商工会 小規模事業者景況調査報告書

あさひかわ商工会では、地域内小規模事業者の「景況確認と経営問題の把握」についての調査を平成27年10月1日から平成28年3月15日までの期間実施し、その概要を以下のとおりまとめました。
(調査事業所 126件)

全業種の売上高DI値

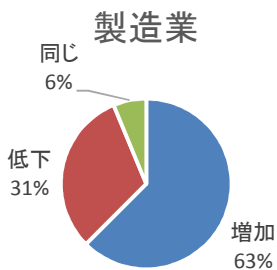


全業種DI Δ 19.0

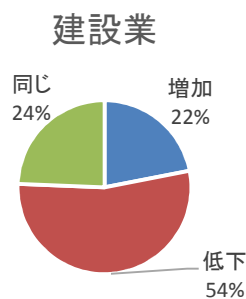
業種	件数
製造業	16
建設業	41
卸小売業	22
飲食業	18
サービス業	29
合計	126

前年同期と対比した売上高のDI値は、全業種合計では、増加事業所が27.0%に対し、減少事業所が46.0%で、減少事業所が19.0ポイント上回っている。業種別では、製造業は31.3ポイント上回ったが、他業種はマイナスであった。特に飲食業、建設業の減少が多い結果となっている。

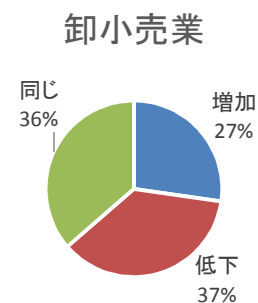
業種別の売上高DI値



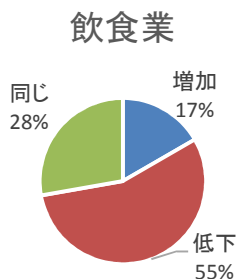
DI値 31.3



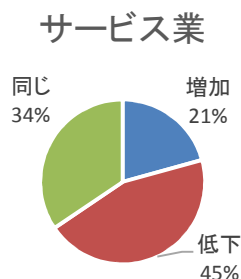
Δ 31.7



Δ 9.0



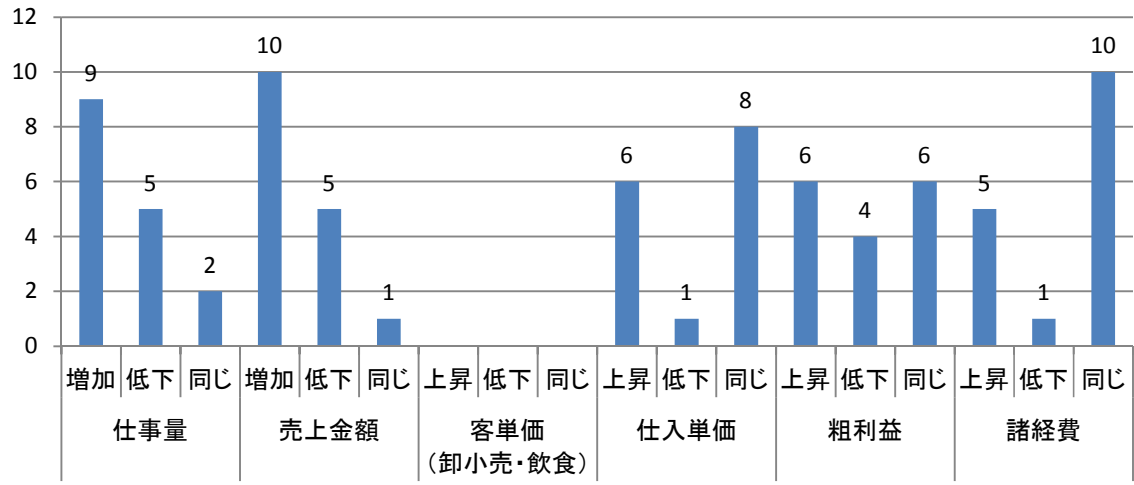
DI値 Δ 38.9



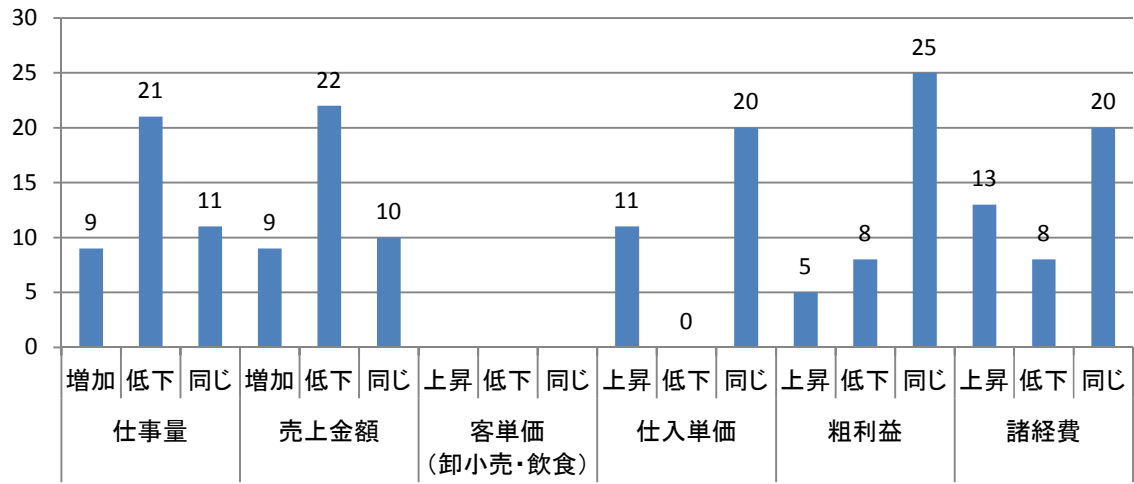
Δ 24.1

売上高DI = 売上増加企業割合 - 売上減少企業割合

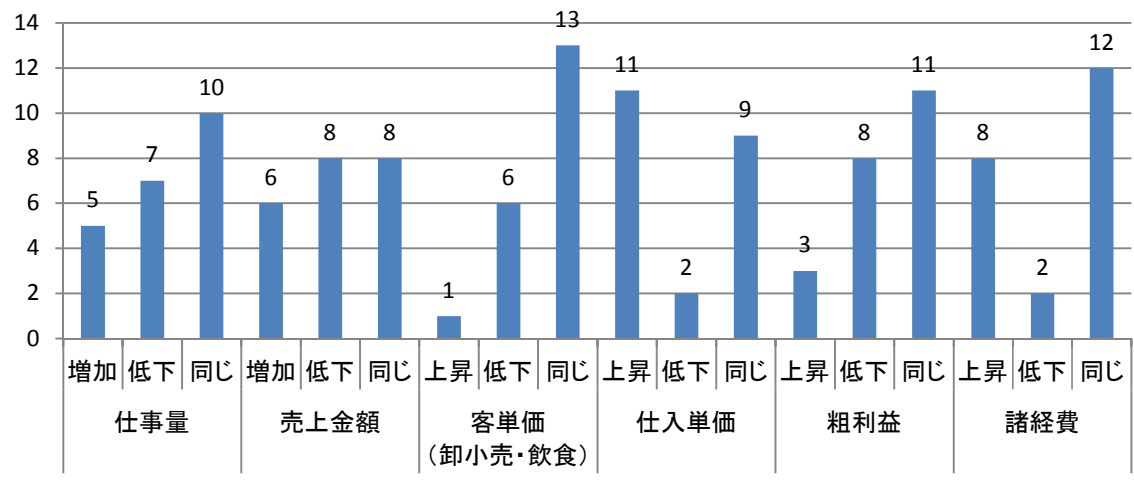
製造業



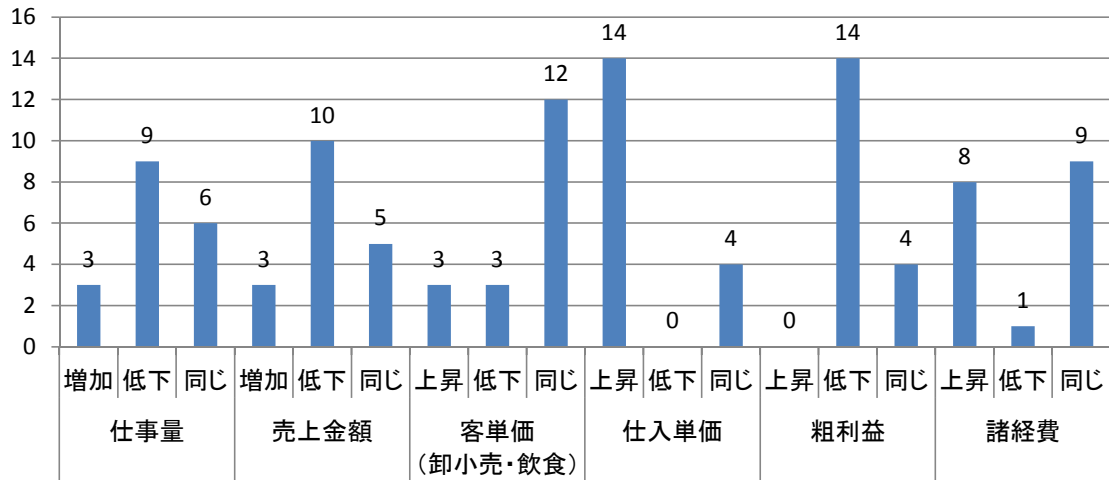
建設業



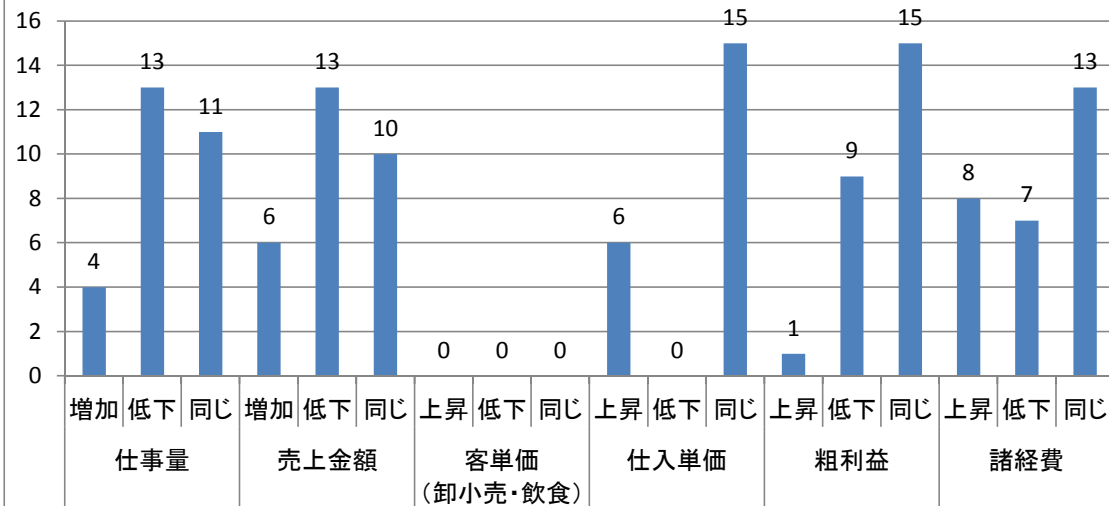
卸小売業



飲食業



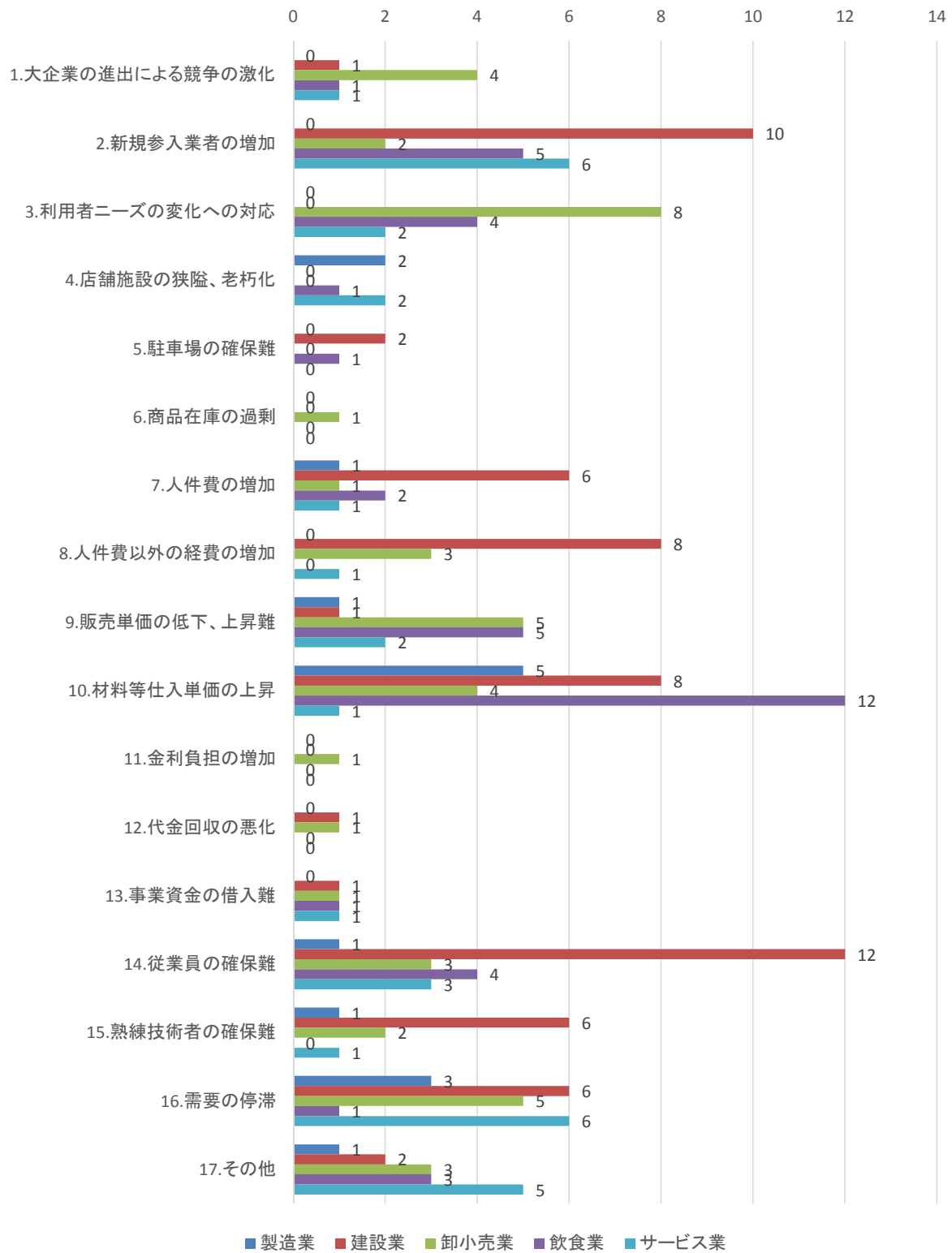
サービス業



コメント

「仕事量」、「売上金額」、「客単価」、「仕入単価」、「粗利益」、「諸経費」の項目について、業種別で調査した結果は、製造業では、仕事量(引き合い)が多く売上が増加し好転している事業所が多いが、それ以外の業種においては、仕事量の少なくなり売上が減少し悪化している事業所が多い結果となった。卸小売業では客単価の低下、飲食業では、来店頻度の減少が要因と推測される。

経営上の問題点



コメント

業種別の経営上の問題点の上位は、製造業では「仕入単価の上昇」を、建設業では「新規参入業者の増加」、「従業員の確保」を、卸小売業では「利用者ニーズの変化への対応」を、飲食業では「仕入単価の上昇」を、サービス業では「需要の停滞」を上位に挙げる結果となった。